

## 8. 故障診断

### 8-1. デジタル表示にエラーが表示された時の対応

表示	不具合内容	原因・チェック
E01	・逆相接続 ・欠相	①キャブタイヤーコード（赤・白・黒）の2本の配線の入れ換え ②欠相（白線ラインが欠相）
E02	コンプレッサー過負荷 （コンプレッサー過電流検出）	①マグネットスイッチ不良による過電流 ②欠相による過電流 ③電源電圧の確認 ④「E02」が解除できない場合は、サーマルリレーまたはコントロール基板不良
E03	圧カスイッチ作動 （ガス回路高圧側高圧力検出）	①給排水の確認 ②「運転」時に作動する場合は、SV1のコイル切れ ③「殺菌」時に作動する場合は、四方弁、SV3、SV4、SV5のコイル切れ ④「E03」が解除できない場合は、圧カスイッチまたはコントロール基板不良 ⑤「E03」解除のため、コントロール電源スイッチをOFFにし、5秒後ONにした時、デジタル表示「OFF」が点滅する場合は、コントロール基板用トランス不良
E04	ダッシャーモーター過負荷 （ダッシャーモーター過電流検出）	①製品の固まりすぎ （トルクカット値、サーモカット温度を確認） ②頻繁に作動する場合はベルト交換必要 ③マグネットスイッチ不良による過電流 ④欠相による過電流 ⑤「E04」が解除できない場合は、コントロール基板不良  注：CPUバージョン「13.01J」では、ダッシャーモーター用サーマルリレーが作動した時は、「E04」は表示されません。
E05	昇温不良  殺菌時、150分経過しても「01」モードが終了しない	①給排水の確認 ②ウォーターバルブの調整不良 ③サーミスターF、サーミスターGの抵抗値確認 （0℃で約7.5kΩ） ④四方弁、SV3、SV4、SV5のコイル切れ ⑤殺菌手順確認
E06	シリンダー内原料過昇温  殺菌時、シリンダー内原料が85℃以上	①シリンダー内原料不足による過昇温 ②サーミスターFの抵抗値確認（0℃で約7.5kΩ） ③コントロール基板不良

表示	不具合内容	原因・チェック
E07	ミックスタンク内原料過昇温 殺菌時、ミックスタンク内原料が85℃以上	①インペラーモーター回転不良 ②ミックスタンク内原料不足による過昇温 ③サーミスターGの抵抗値確認(0℃で約7.5kΩ) ④コントロール基板不良
E08	使用していません	
E09	使用していません	コンプ熱導型リセットが作動したときは、「E09」は表示されません。
E10	製品取出用マイクロスイッチが「ON」の状態 (マイクロスイッチ部動作不良)	①プランジャーが上がった(フットペダルが下がったまたはハンドルが下がった)状態で、次の動作を行うと「E10」が点灯します。 ・コントロール電源スイッチを「OFF」から「ON」にした ・操作スイッチを「停止」から「運転」にした ②インナーワイヤー調整 NA-6462WE・NA-6448WEはサイド、センターの両方を確認 ③マイクロスイッチレバー部の動作確認 ④マイクロスイッチまたはリフレッシュスイッチ基板不良
E11	シリンダーサーモカット用のサーミスターHが制御範囲外の温度を検出	①シリンダー内原料不足 ②サーミスターH抵抗値確認(0℃で約7.5kΩ) ③コンプレッサー用コンタクター不良 ④コンプレッサー不良などによるシリンダー冷却不足 (「運転」スタートから5分後に「E11」作動)
E12	シリンダー加熱・保冷用のサーミスターFが制御範囲外の温度を検出	①シリンダー内原料不足 ②サーミスターF抵抗値確認(0℃で約7.5kΩ)
E13	ミックスタンク加熱・保冷用のサーミスターGが制御範囲外の温度を検出	①ミックスタンク内原料不足 ②サーミスターG抵抗値確認(0℃で約7.5kΩ)
E24	ダッシャーモーター過負荷 注: CPUバージョン「13.02J」以降	①ダッシャーモーター用サーマルリレーが作動